

授業科目名	言語聴覚障害学概論（AACを含む）	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	上村朋久、仲山晃生、島本裕士、春芳準朗	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 聴覚言語障害の発生過程、障害の種類など言語聴覚士に必要な全般的な知識について学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕 言語聴覚士の臨床がイメージできるようになる。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	言語聴覚士とは 学問分野、言語聴覚士の教育				
第 2 回	言語とコミュニケーション 人間の言語とコミュニケーションの特徴について				
第 3 回	話ことばの障害 音声障害、構音障害、吃音について				
第 4 回	言語機能の障害 失語症、言語発達障害について				
第 5 回	高次脳機能障害 言語聴覚士が関わる各種高次脳機能腫外について				
第 6 回	聴覚障害 各種聴覚障害について				
第 7 回	地域包括ケアシステム①				
第 8 回	地域包括ケアシステム②				
第 9 回	摂食嚥下障害 摂食嚥下障害のメカニズムと評価方法				
第 10 回	ICFについて 言語聴覚療法とICF				
第 11 回	言語聴覚士の歴史 言語聴覚療法の提供システム				
第 12 回	職業倫理 パターナリズム、インフォームドコンセント等医療職の倫理について				
第 13 回	リスクマネジメント 言語聴覚士が関連するリスクマネジメントについて				
第 14 回	言語聴覚士法 言語聴覚療法と法規について				
第 15 回	まとめ				
評価方法	定期テストで評価します。（100％）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 言語聴覚障害学概論（医学書院）				
履修上の 留意点					
メッセージ					